

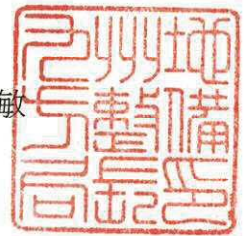


国九整企画第6号
平成31年4月23日

福岡市長 高島 宗一郎 様

国土交通省 九州地方整備局長

伊勢田 敏



直轄事業の事業計画(福岡市関連分)について(通知)

平素から国土交通省直轄事業の推進に当たり、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当局における平成31年度当初予算に関する地方負担を求める事業計画のうち、福岡市関連分について、別紙のとおりお知らせいたします。

平成31年度当初 福岡市における事業計画（道路関係〔直轄〕）

改築事業（幹線道路ネットワーク整備）

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	H31年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道3号	博多バイパス	L=7.7km	481	0	9,900	0	100	0	0	10,000	3,333	調査推進: 調査設計	福岡市東区下原～松島交差点 L=5.2km(6/6) 2018年3月17日開通済
合 計				0	9,900	0	100	0	0	10,000	3,333		残事業費:約1億円

（注）地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

（注）備考欄の用地進捗率は、平成31年3月31日時点である。

（注）備考欄の事業進捗率は、平成31年3月31日時点である。

（注）備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

平成31年度当初 福岡市における事業計画（道路関係〔直轄〕）

改築事業（防災対策等）

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	H31年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道202号	春吉橋架替	L=0.2km	45	398,000	15,000	9,000	3,000	0	0	425,000	141,666	・調査推進： 調査設計 ・用地補償： 支障物件移設補償 ・工事推進： 春吉橋旧橋撤去工 春吉橋下部工	用地進捗率：100% 事業進捗率：約50% 福岡市博多区中洲～同市中央区春吉 L=0.2km(4/4) 開通時期については、完成に向けた円滑な 事業実施環境が整った段階で確定予定
国道202号	周船寺橋架替	L=0.1km	10	36,000	6,500	2,000	500	0	0	45,000	15,000	・調査推進： 調査設計 ・用地補償： 支障物件移設補償 ・工事推進： 周船寺橋旧橋撤去工	用地進捗率：100% 事業進捗率：約72% 福岡市西区周船寺3丁目 ～同市西区周船寺2丁目 L=0.1km(2/2) 開通時期については、完成に向けた円滑な 事業実施環境が整った段階で確定予定
合 計				434,000	21,500	11,000	3,500	0	0	470,000	156,666		

（注）地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

（注）備考欄の用地進捗率は、平成31年3月31日時点である。

（注）備考欄の事業進捗率は、平成31年3月31日時点である。

（注）備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

平成31年度当初 福岡市における事業計画(道路関係〔直轄〕)
交通安全事業(Ⅰ種)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	H31年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道3号	福岡3号交通安全対策	—	—	0	8,694	0	306	0	0	9,000	3,000	・調査設計	開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。
	〔 千早・箱崎自転車通行空間整備	—	—	0	8,694	0	306	0	0	9,000			
国道202号	福岡202号交通安全対策	—	—	12,000	23,388	9,000	612	0	0	45,000	15,000	・調査設計 ・用地買収等 ・工事	開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。
	〔 六本松交差点改良	—	—	12,000	2,694	9,000	306	0	0	24,000			
	〔 中村大学前交差点改良	—	—	0	20,694	0	306	0	0	21,000			
合 計			—	12,000	32,082	9,000	918	0	0	54,000	18,000		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注)備考欄の供用予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

平成31年度当初 福岡市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

交通安全事業(Ⅱ種)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	H31年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道3号 国道201号 国道202号	—	—	—	103,000	19,664	0	336	0	0	123,000	61,500	道路照明、道路標識、区画線	
合 計			—	103,000	19,664	0	336	0	0	123,000	61,500		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

平成31年度当初 福岡市における事業計画(道路関係〔直轄〕)
電線共同溝事業

路線名	箇所名等	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	H31年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道3号	福岡3号電線共同溝			616,357	123,000	40,000	4,643	0	0	784,000	392,000		
	千早・早島地区電線共同溝	L=4.6km	60	604,657	40,000	40,000	4,343	0	0	689,000		・本体工事、調査設計、支障物件移設	開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
	吉塚・榎田地区電線共同溝	L=2.6km	37	11,700	83,000	0	300	0	0	95,000		・本体工事、調査設計	開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
国道202号	福岡202号電線共同溝			210,000	13,000	0	0	0	0	223,000	111,500		
	今宿・周船寺地区電線共同溝	L=4.8km	64	210,000	13,000	0	0	0	0	223,000		・本体工事、調査設計	開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
計				826,357	136,000	40,000	4,643	0	0	1,007,000	503,500		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注)備考欄の完成予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

平成31年度当初 博多港（港湾管理者：福岡市）における事業内容等 （港湾関係）

（様式 1）

港湾整備事業

（単位：千円）

港名	施設名	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額							地 方 負担額	事業内容	備考
				内訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附 帯 工事費	事 業 車両費				
博多港	～アイランドシティ地区 国際海上コンテナターミナル整備事業～												
	アイランドシティ地区		798										2020年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事 業実施環境（注2）が 整った段階で確定予定
	泊地（-15m）	A=53,000m2		<56,000> 58,770						<56,000> 64,000	<25,200> 28,800	グラブ浚渫 10,000m3	
	岸壁（-15m）（耐震）	L=500m		<1,392,000> (535,200) 2,471,982						<1,392,000> (535,200) 2,568,000	<464,000> (178,400) 856,000	係留施設工 1式	
	臨港道路	L=2,500m		<3,108,000> (240,000) 3,630,258						<3,108,000> (240,000) 3,750,000	<1,036,000> (80,000) 1,250,000	橋梁上部工 1式 橋梁盛土・擁壁工 1式	
	東航路地区												
	航路（-15m）	A=1,550,000m2		<750,000> 779,252						<750,000> 825,000	<250,000> 275,000	グラブ浚渫 110,000m3	
	～予防保全事業～												
	中央航路地区		60										2020年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事 業実施環境（注2）が 整った段階で確定予定
	航路（-12m）（改良）	A=140,000m2		938,000	36,000	10,000	5,472	0	528	990,000	445,500	グラブ浚渫 170,000m3	
計				<5,306,000> (775,200) 7,878,262							<5,306,000> (775,200) 8,197,000	<1,775,200> (258,400) 2,855,300	

< >書きは平成30年度国債の平成31年度支出分で内数
()書きは平成31年度国債の平成31年度支出分で内数
(注1) 端数処理の関係で施設毎の合計と合わない場合があります。
(注2) 「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。